

26 牛渡緑地環境保全地域



1 地域指定

- (1) 指定地域 鹿島神社周辺一帯（出島村）
- (2) 指 定 昭和58年3月31日（茨城県告示第589号）

2 保全計画の概要

(1) 指定理由

本地域は、スダジイ、タブノキを主とする常緑樹林である。

林内には、関東地方以西に分布するヤブニッケイの大木や、ユリ科のキチジョウソウが生育している。

また、動物相では、南方系の大型蝶で希少種であるアオスジアゲハも数多く生息する等貴重な動植物が見られるので、これらの自然環境を保全する必要がある。

このため、本地域は、茨城県自然環境保全条例第10条第1項第1号に規定する「樹林地が集落地周辺と一体となって、良好な自然環境を形成している区域」に該当する。

(2) 自然環境の概要

ア 植 生

スダジイ、タブノキを優占種とし、ヤブツバキ、ヤブニッケイ、クスノキ、シロダモ、モチノキの生育する常緑樹林に、ケヤキ、ネムノキ、エノキ、ムクノキ、スギ、カヤが混生している。

林内には、上層木の稚樹のほか、ゴンズイ、ガマズミ、ヒサカキが見られ、その下にベニシダ、

キチジョウソウ、ヤブコウジ、ミズヒキ、チゴユリ、キバナアキギリ等が豊富に生育している。
特に、ヤブニッケイ、キチジョウソウ（ユリ科）は、ともに関東地方以西に分布する暖地性植物で、かつ希少性を有している。

イ 野生動物

常緑樹を好む南方系のアオスジアゲハが多く見られるほか、キマダラセセリ、チャバネセセリ等のセセリチョウ類、ウラギンシジミ、ツバメシジミ等のシジミチョウ類、キアゲハ、ナミアゲハ、クロアゲハ等のアゲハチョウ類、イチモンジチョウ、コミスジ、ミスジチョウ、ルリタテハ、アカタテハ等のタテハチョウ類が数多く生息している。

また、アジアイトトンボ、ヤマサナエ、オニヤンマ、ナツアカネ、アキアカネ等のトンボ類や他の昆虫類も多種見られる。

さらに、キジバト、ヒヨドリ、モズ、カケスのほか、冬鳥のジョウビタキ、ツグミ等も多数確認されている。

(3) 区域

ア 区域の概要

本地域は、霞ヶ浦を望む台地上に、うっそうとした樹冠を見せている森林地域で、牛渡地区の鹿島神社地内である。

イ 位置及び区域

新治郡出島村大字牛渡の一部

別図のとおり

ウ 面積 0.61ヘクタール

エ 土地所有関係

単位：ヘクタール

国 有 地	公 有 地	民 有 地	合 計
0	0	0.61	0.61

(面積は、台帳面積及び一部実測による。)

(4) 自然環境の保全に関する基本的な事項

本地域は、鹿島神社地内で、スダジイ、タブノキを主とする常緑樹林に、関東地方以西に分布し、希少種であるヤブニッケイ、キチジョウソウが生育している。

また、南方系の大型蝶アオスジアゲハ等昆虫類、鳥類が数多く見られる等、良好な自然環境を形成しており、これらの動植物を維持するため、自然環境の保全を図る。このため、保全に必要な規制は、条例の定めにより行う。

(5) 保全施設に関する方針

良好な自然環境を保全するため、必要に応じて保全施設を設ける。

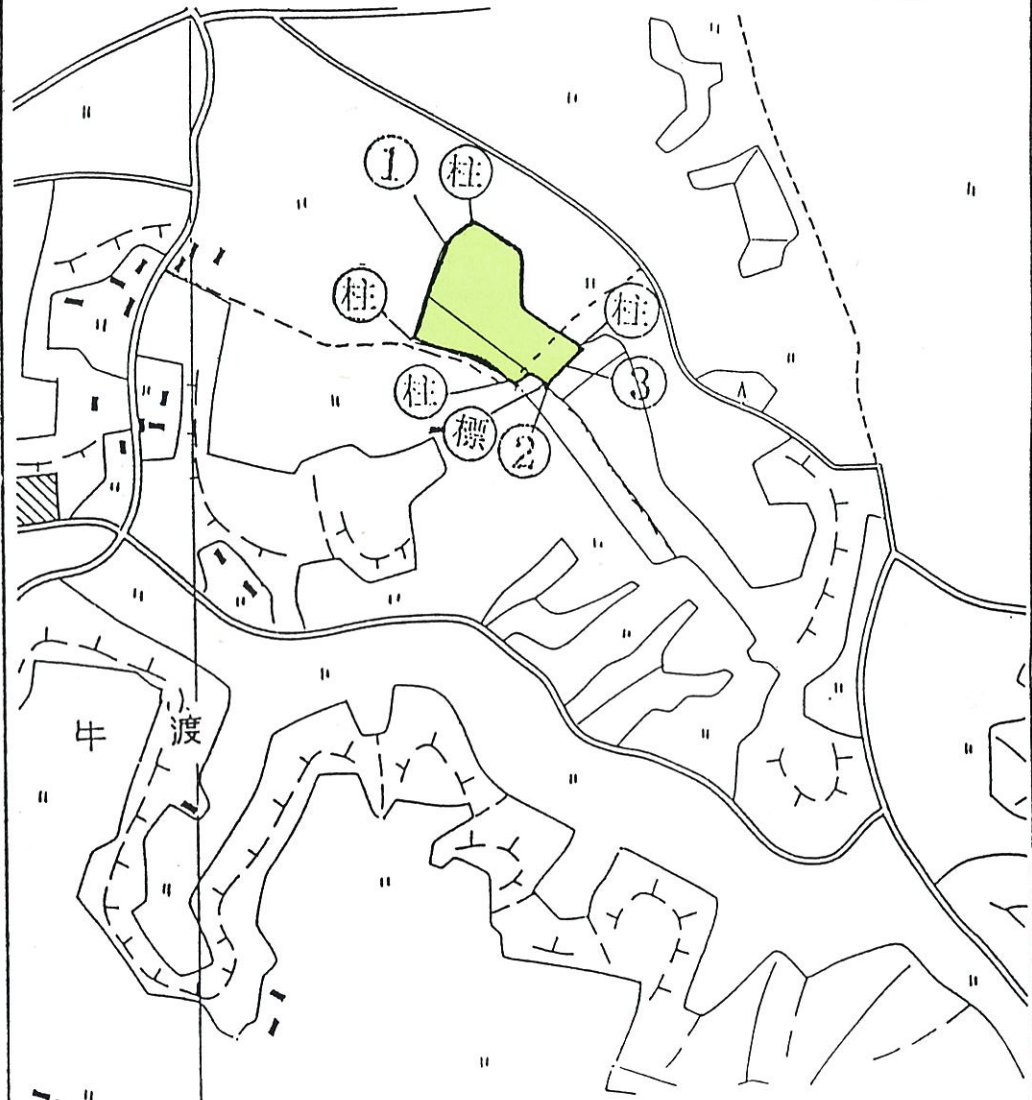
牛渡緑地環境保全地域位置図

$$S = \frac{1}{50000}$$



牛渡緑地環境保全地域区域図

$$S = \frac{1}{5000}$$



区域線表示凡例

- ① - ② 道路界
- ② - ③ 見透し界
- ③ - ① 地類界

保全施設表示凡例

- ⊙ 標板新設
- ⊕ 標柱新設

